

# ADS通信

Vol.14



Seikatsu Sangyo  
Laboratory

生活産業研究所株式会社

## 1.ADSシリーズの異幅道路

ADSシリーズが遂に異幅道路に対応しました。

これまでのADSシリーズは平行道路のみの対応で、日影規制ラインの設定や異幅道路の道路斜線天空率算定領域の設定は手動で編集する必要がありました。

新たなADSシリーズでは与条件設定で異幅道路のパラメーターを設定することで、各種計算の異幅道路に関連する設定を自動生成することができます。

ADSシリーズにおける異幅道路の基本的な考え方について、1面接道の場合と2面接道の場合に分けて2回にわたり解説します。今回は1面接道の場合の解説です。

### 1-1.ADSシリーズにおける異幅道路

### 1-2.異幅道路の日影規制ライン

### 1-3.異幅道路の道路斜線

### 1-4.各システムでの設定方法

#### 対象システム

ADS-Family(対応バージョン：Ver10)

BT-AC (対応バージョン：Ver11 Archicad24対応版)

BT-VW (対応バージョン：Ver5 VECTORWORKS2021対応版)

※BT-RVはVer10 Revit2021対応版で対応予定（リリース時期未定）

#### 製品名凡例

略称	製品名
ADS-Family	ADS-win/ADS-LAX/ADS-LA
BT-AC	ADS-BT for ARCHICAD
BT-RV	ADS-BT for Revit
BT-VW	ADS-BT for VECTORWORKS
ADSシリーズ	上記全製品

# 1.ADSシリーズの異幅道路

## 1-1.ADSシリーズにおける異幅道路

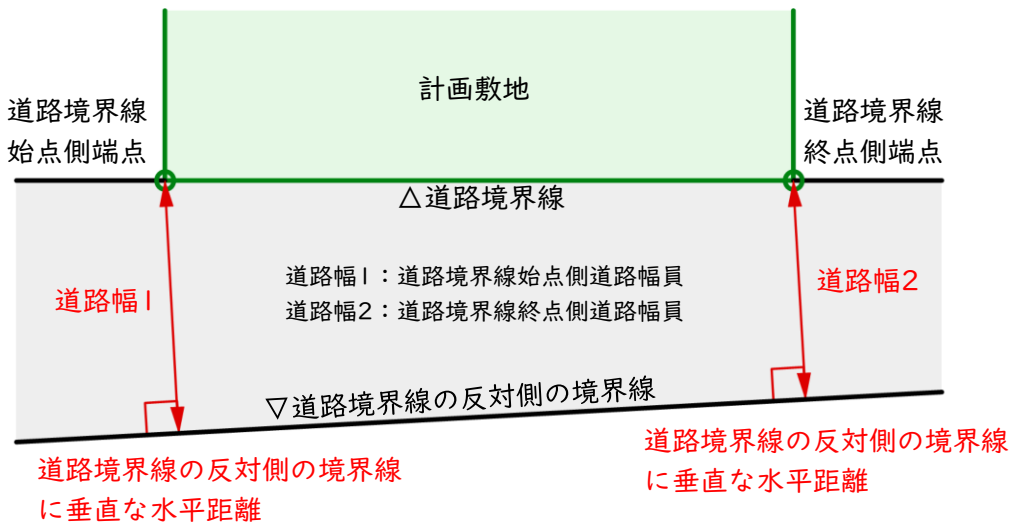
ADSシリーズにおける異幅道路の道路幅員と採用道路幅員、道路高についての考え方を解説します。

### ADSシリーズでの道路幅員

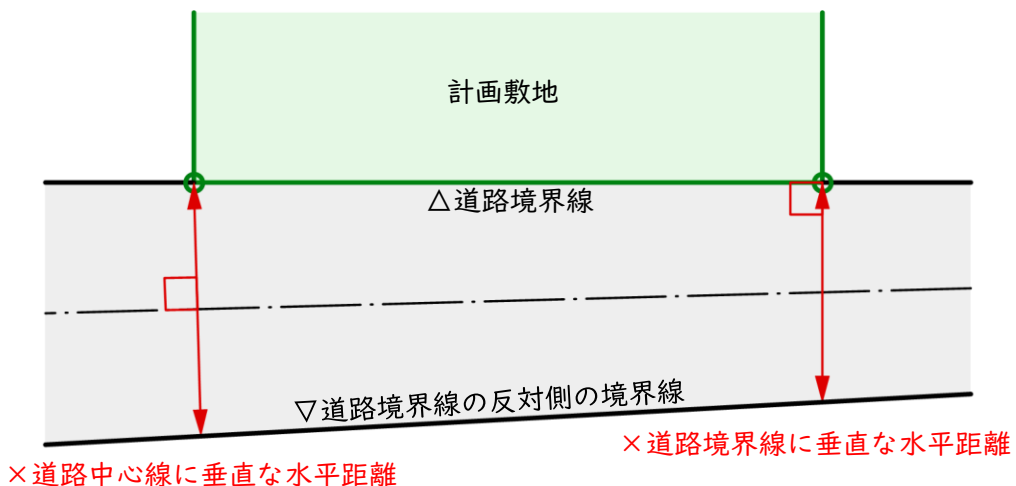
ADSシリーズでは、道路斜線によって制限される高さが前面道路の反対側の境界線からの水平距離によって決まる（法第56条第1項第1号）ことから、**道路境界線端点から道路境界線の反対側の境界線に垂直な水平距離**を道路幅員として採用しています。

ADSシリーズで設定する道路幅員と、図面に表記された道路幅員が異なる場合がありますので注意して下さい。

### ADSシリーズで採用している道路幅員



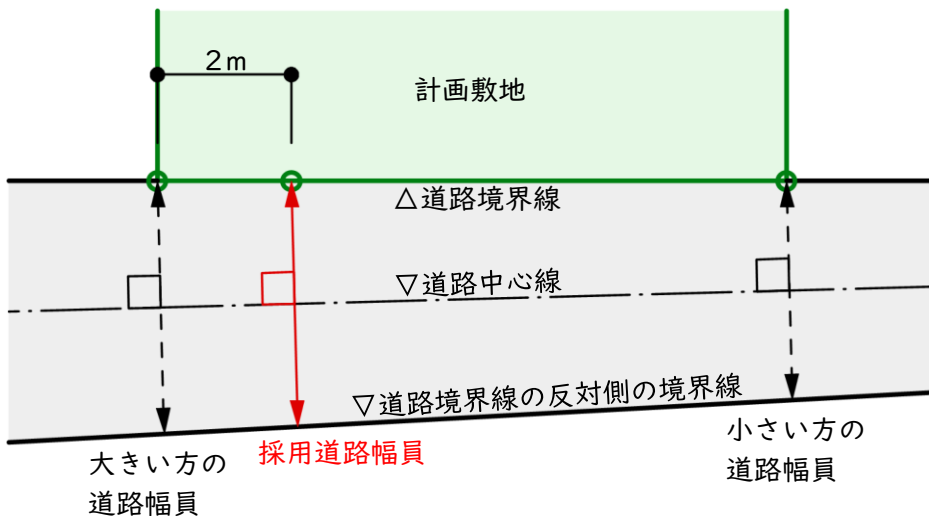
### ADSシリーズで採用していない道路幅員



## 採用道路幅員

異幅道路の場合、容積率の算定の基礎となる前面道路の幅員（法52条第2項）及び前面道路が2以上ある場合の2A緩和の基礎となる前面道路の幅員（令132条第1項及び第2項）を一意に決定する必要があります。ADSシリーズでは「採用道路幅員」として任意に設定します。代表的な採用道路幅員の取り扱いとしては、道路中心線に垂直な水平距離を道路幅員として、道路幅員が大きい側の道路境界線端点から2mだけ敷地側に入り込んだ位置における幅員を前面道路の幅員とみなすものがあります。

## 代表的な取り扱い例

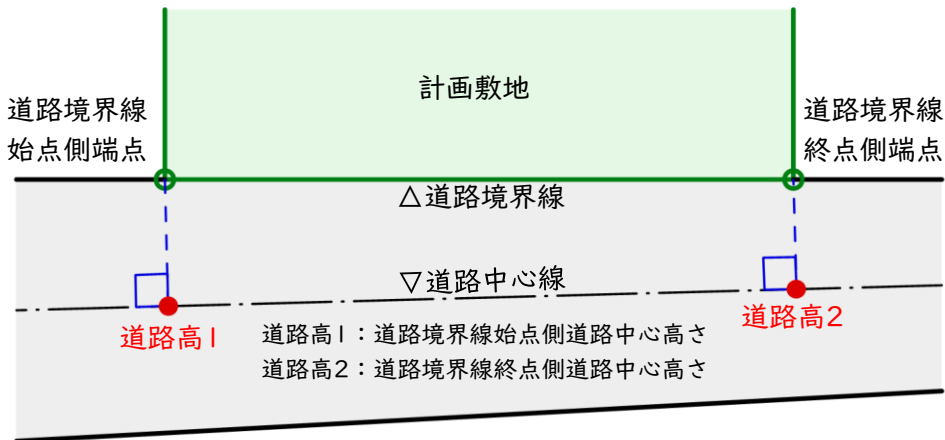


※ここでの道路幅員の取り方は、ADS-Familyでの道路幅員の取り方とは異なります。  
※実際の取り扱いについては審査機関にご確認下さい。

## ADSシリーズでの道路高

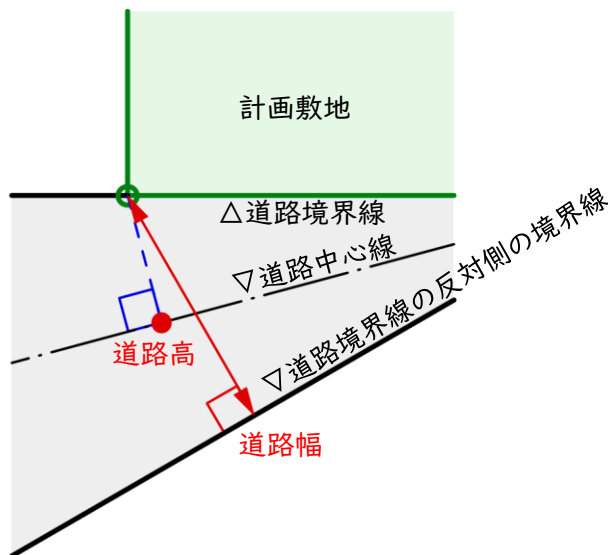
ADSシリーズでは、道路中心線と道路境界線端点からの道路中心線に垂直な線の交点の高さを道路高として採用しています。

### ADSシリーズで採用している道路高



## ADSシリーズでの道路幅員と道路高の関係

ADSシリーズでは、道路幅員と道路高で垂直を取る基準線が異なるため、道路幅員と道路高が同一線上にはなりません。

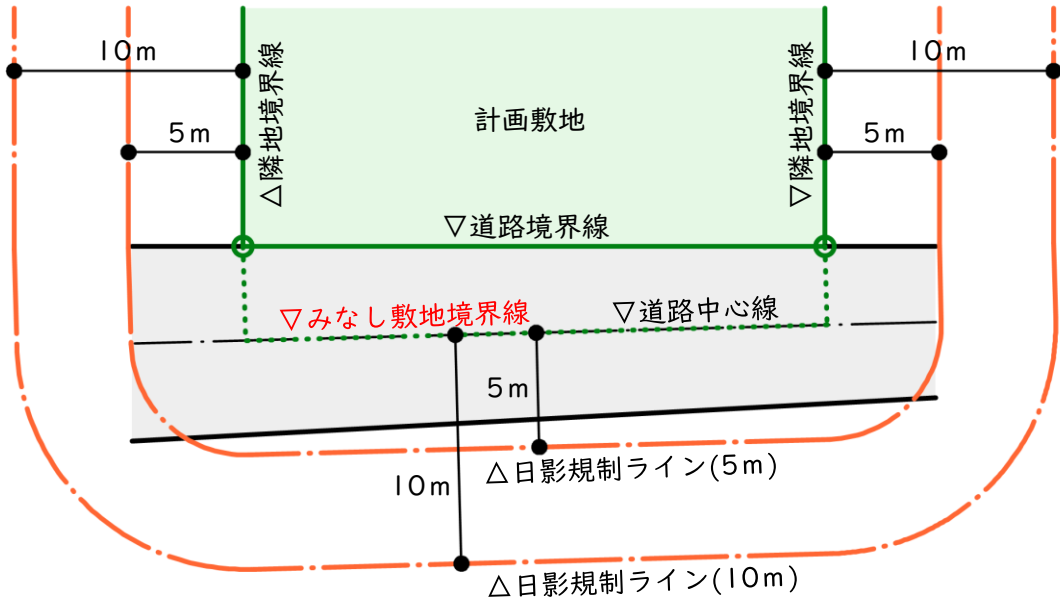


## 1-2.異幅道路の日影規制ライン（令第135条の12第1項第1号）

みなし敷地境界線から5m及び10mの水平距離が日影規制ラインとなります。  
みなし敷地境界線の緩和の適用に異幅道路の設定が反映されます。

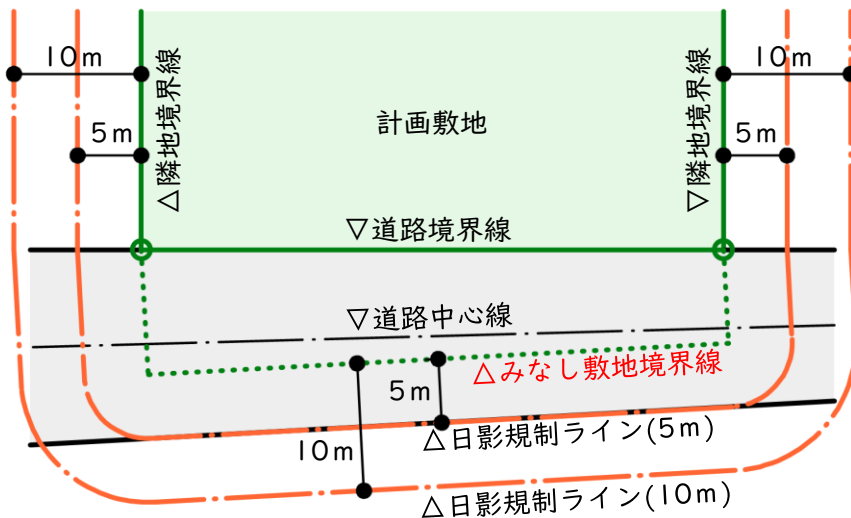
### 道路幅員が10m以下の場合

道路中心線を敷地境界線とみなします。



### 道路幅員が10mを超える場合

道路境界線の反対側の境界線から敷地側に5mオフセットした線を敷地境界線とみなします。

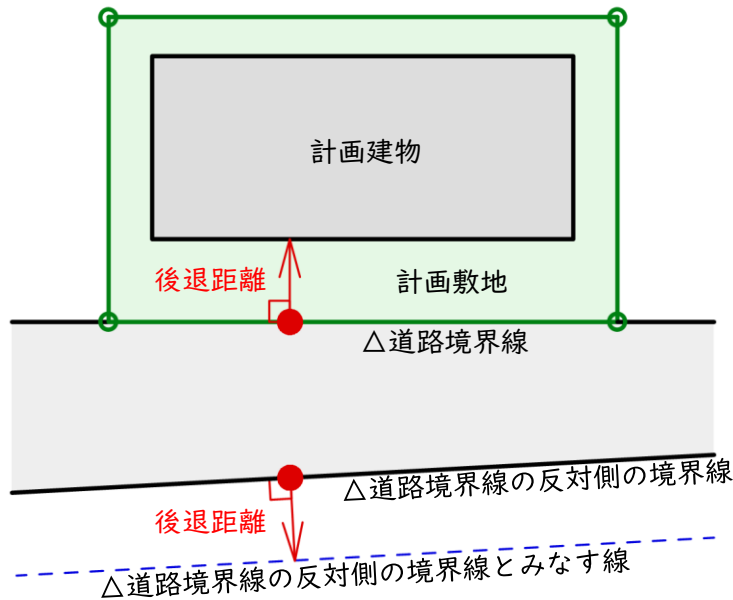


## I-3.異幅道路の道路斜線

異幅道路の道路斜線の基本的な考え方を解説します。

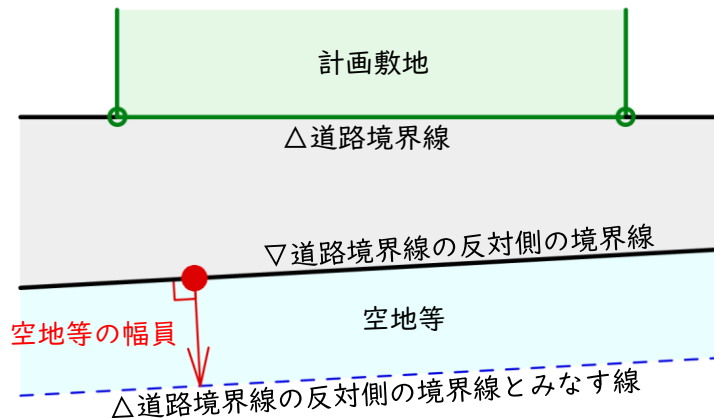
### 後退距離（法第56条第2項）

道路境界線の反対側の境界線を、後退距離だけ敷地の外側にオフセットした線を、道路境界線の反対側の境界線とみなします。



### 前面道路の反対に空地等がある場合の緩和（令第134条第1項）

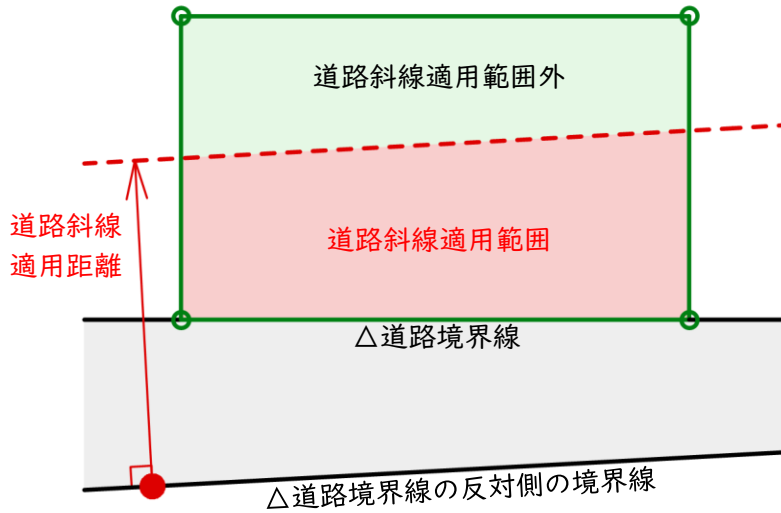
道路境界線の反対側の境界線を、空地等の幅員だけ敷地の外側にオフセットした線を、道路境界線の反対側の境界線とみなします。



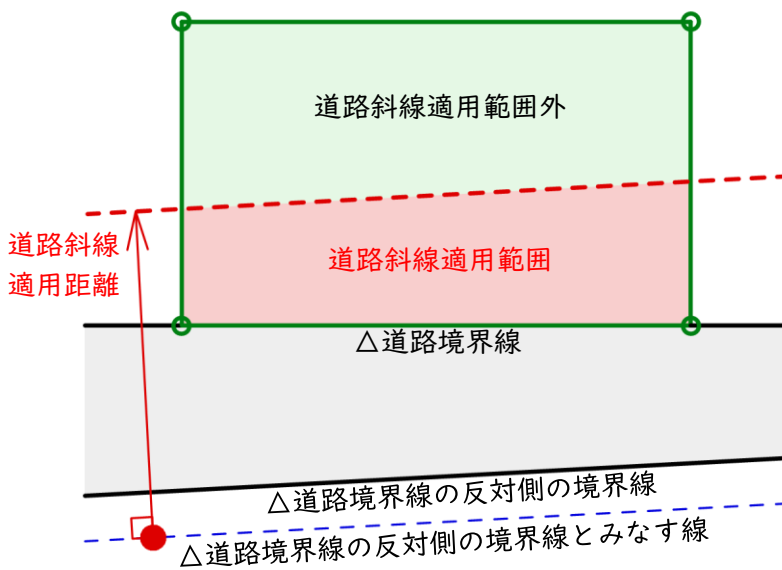
## 道路斜線適用距離（法別表第3（は）欄）

道路境界線の反対側の境界線または道路境界線の反対側の境界線とみなす線からの、法別表第3（は）欄で規定する水平距離が道路斜線適用距離となります。

### 道路幅員の緩和の適用がない場合



### 道路幅員の緩和の適用がある場合





## 斜線勾配の緩和（法第56条第3項、第4項）

特定の住居系用途地域内で前面道路の幅員が12m以上の場合、道路幅員に応じた一定の区域の斜線勾配が「1.5」に緩和されます。

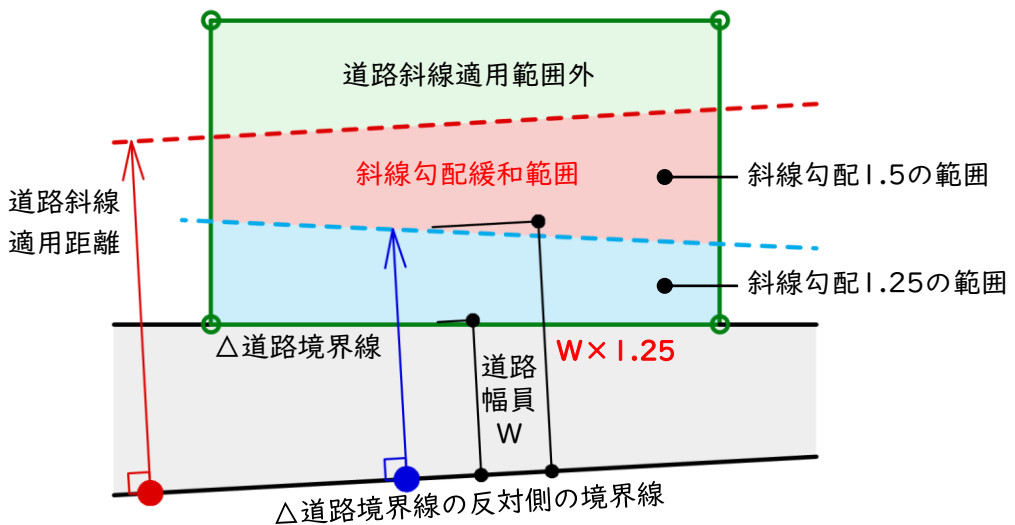
異幅道路の場合、道路幅員が一意ではありませんので、各部分での道路幅員を算定の基礎とします。

※特定の住居系用途地域

第一種・第二種中高層住居専用地域、第一種・第二種住居地域、準住居地域

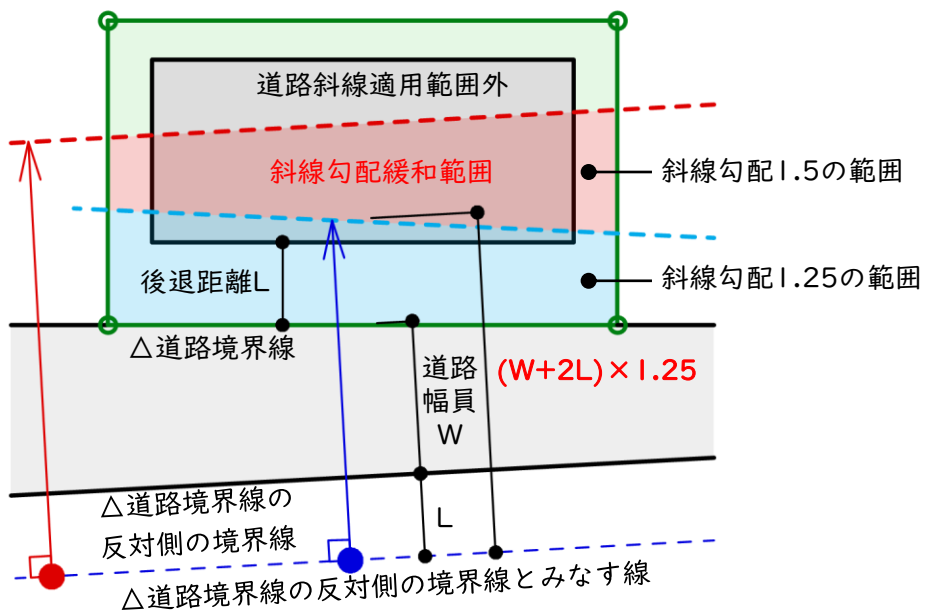
## 後退距離の緩和（法第56条第4項）を適用しない場合

道路境界線の反対側の境界線から道路幅員×1.25以上の区域が緩和されます。



## 後退距離の緩和（法第56条第4項）を適用する場合

道路境界線の反対側の境界線とみなす線から(道路幅員+後退距離×2)×1.25以上の区域が緩和されます。



## 1-4.各システムでの設定方法

操作手順は各システムのリファレンスマニュアルを参照して下さい。

### 設定項目（各システム共通）

項目	概要	
道路幅1	道路境界線の始点側の前面道路の幅員を入力します	
道路幅2	道路境界線の終点側の前面道路の幅員を入力します	
採用幅種別	道路幅員の採用幅の種別を選択します	
	最小幅員	道路幅1、2の小さい方の幅員を採用します
	任意	任意の道路幅を採用します
採用道路幅員	採用道路幅員を設定します 「採用道路種別」が「任意」の場合、採用道路幅員を入力します	
道路高1	道路境界線の始点側の前面道路の中心の高さを入力します	
道路高2	道路境界線の終点側の前面道路の中心の高さを入力します	

### ADS-Family

<b>与条件設定</b>
本敷地
三斜求積図
外部図形変換
サイトフォーカス
分割線・補助線
方位
<b>境界線条件</b>
道路・交差点

プロパティ		作図線	測定	ステータス			
No	種類	道路幅1	道路幅2	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1	道路高2
1	道路	4.000	6.000	最小幅員	4.000	0.000	0.000

## BT-AC



境界線条件

No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]
1	道路	4.000	6.000	最小幅員	4.000	0.000	0.000

## BT-VW



境界線条件の設定

境界線No: 1

種類

- 道路境界線
- 隣地境界線
- 隅切辺

道路幅1: 4000

道路幅2: 6000

採用幅種別: 最小幅員

採用道路幅員: 4000

道路高1: 0

道路高2: 0

隣地高: 0

特定道路: 70000

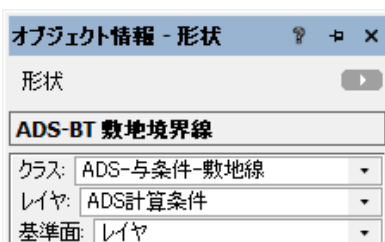
緩和幅1: 0

緩和幅2: 0

ヘルプを表示するには、F1キーまたは「?」アイコンをクリックしてください。

OK キャンセル

※「ADS-与条件-敷地線」クラスの「ADS-BT 敷地境界線」オブジェクトを選択した状態で選択します。





⊕ 次回：2面接道の場合の異幅道路の基本的な考え方（予定）

生活産業研究所株式会社  
Seikatsu Sangyo Laboratory  
<http://www.epcot.co.jp>

ADS通信 Vol.14

- ・資料の二次使用、改造、改変等は禁止しております。
- ・著作権は、生活産業研究所株式会社に帰属します。